

登山・登攀の記録

北アルプス 劔岳東大谷二本槍正面尾根

日時:1963年5月2日~3日

メンバー:井川裕、小山貢 OB

概要:二本槍正面尾根の初登時の記録(部報 No.2 より)

記録

5月2日

二本槍ルンゼは途中で二箇所ほど切れていてどうもブロック雪崩を喰いそうなので正面の尾根を登ることにする。ブッシュを頼りに登るが案外悪いところが多く、昨日の雨がこの辺では雪になったらしく、外傾の草付にうっすらと雪がのっけいやすい。ブッシュ尾根だけを登って時間切れで 5:30 ビバーク。この尾根は約4段の階段状になっていて始めと終わりごろが悪い。8時過ぎ、ようやく雪がやみツエルトをまくと三本、二本槍の威容が眼前に月光を浴びてそびえている。思わず「うーむ」となる。真に日本離れした凄絶な光景である。気温は相当低く、ツエルトの内部は何度も薄氷が張った。寒さのためにほとんど寝られなかったが、明け方少しまどろんだ。

5月3日

8時に行動開始、雪のために動きにくく、やせ尾根の大岩のところなどは前回通過のときはスナリ行けたのに、今回はハーケンを二枚も打捨てた。大岩を過ぎると、いよいよ二本槍のフェイスだが、ルートは真ん中で取り付き、2ピッチほど登った所から左の肩に抜けると思われる凹角に入り凹角通しに登ることとする。始めの2ピッチはいやな所だったが、予想通り肩に出て一息入れる。ここで2600へ連絡に登ってきてくれた三牧、松田とコールを交わす。ここから2ピッチ、烏帽子岩側を巻き、正面に戻ると30mほどの垂直に近い岩稜に行き当たる。これの基部を三本槍側にまいて2ピッチ。さらに稜線伝いに1ピッチ登ると昨年関田とビバークしたハイマツのテラスに達した。後は難なく早月に5時30分着。ほとんど全ルートのトップをつとめた井川はバテ気味であった。6時10分左俣のコール、7時B. C着(小山 記)

